



Color &amp; Comfort by Chemistry



## 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 DIC株式会社

コード番号 4631 URL <http://www.dic.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 杉江 和男

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 二宮 啓之

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日

TEL 03-3272-4511

平成22年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家等向け)

(百万円未満四捨五入)

## 1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	393,073	9.2	20,810	170.3	18,936	535.2	12,231	—
22年3月期第2四半期	359,861	△29.7	7,699	△55.3	2,981	△79.5	564	△94.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	14.00	—
22年3月期第2四半期	0.71	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	749,179	138,635	15.6	127.02
22年3月期	749,866	122,829	13.5	127.72

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 116,545百万円 22年3月期 101,034百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
23年3月期	—	2.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	2.00	4.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

## 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	780,000	2.9	38,000	36.6	33,000	72.9	18,000	608.7	20.10

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.6「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 919,372,048株 22年3月期 792,872,048株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 1,830,237株 22年3月期 1,814,322株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 873,925,558株 22年3月期2Q 791,087,981株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入社している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページをご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績 .....	1
(1) 当第2四半期(3か月)の業績全般の概況 .....	1
(2) 当第2四半期(3か月)のセグメント別業績 .....	1
(3) 当第2四半期連結累計期間の業績 .....	4
(4) 2010年度通期業績予想 .....	4
2. 財政状態 .....	5
3. その他の情報 .....	6
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	6
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	6
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	6
4. 四半期連結財務諸表 .....	7
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	7
(2) 四半期連結損益計算書 .....	9
(第2四半期連結累計期間) .....	9
(第2四半期) .....	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	13
(5) セグメント情報 .....	13
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	15

## 1. 経営成績

当社グループの決算期は、一部を除き、海外子会社が12月、国内会社は3月であるため、当第2四半期（3か月）の状況に関しては、海外子会社は平成22年4月～6月期、国内会社は平成22年7～9月期について各々記載しています。

## (1) 当第2四半期（3か月）の業績全般の概況

当第2四半期の当社グループを取り巻く事業環境は、第1四半期に引続き、緩やかな回復傾向が継続し、前年同期比では全般的に需要は伸長しました。

このような事業環境の中、当第2四半期の売上高は、全事業部門で伸長し、1,963億円と前年同期比4.0%の増収となりました。

営業利益は、品目構成の改善や全般的な売上数量の増加などにより、106億円と前年同期比89.5%の大幅な増益となりました。

経常利益は、金融収支の改善等により、97億円と前期比3.6倍の増益となりました。

四半期純利益は、62億円と前期比16.5倍の増益となりました。

	当第2四半期 実績（3か月）	前第2四半期 実績（3か月）	前年同期比	
				為替影響排除後
売上高	1,963億円	1,887億円	+4.0%	+7.5%
営業利益	106	56	+89.5%	+89.0%
経常利益	97	27	3.6倍	--
四半期純利益	62	4	16.5倍	--

## (2) 当第2四半期（3か月）のセグメント別業績

(単位：億円)

	売 上 高				営 業 利 益			
	当第2 四半期 実績 (3か月)	前第2 四半期 実績 (3か月)	前年同期比		当第2 四半期 実績 (3か月)	前第2 四半期 実績 (3か月)	前年同期比	
				為替影響 排除後				為替影響 排除後
印刷インキ	1,033	1,022	+1.1%	+6.5%	41	19	2.1倍	2.3倍
ニューグラフィック アーツ	274	242	+13.3%	+18.6%	14	1	21.2倍	10.1倍
合成樹脂	400	363	+10.2%	+11.1%	42	30	+39.9%	+39.4%
ケミカルソリューション	379	363	+4.3%	+4.4%	20	15	+31.1%	+30.0%
その他	9	7	+15.9%	△6.3%	△1	3	赤字化	赤字化
消去又は全社	△133	△112	----	----	△10	△11	----	----
計	1,963	1,887	+4.0%	+7.5%	106	56	+89.5%	+89.0%

当社は、基礎素材とコア技術を基盤として、事業を社会変化に対応して成長させることを目的に、平成22年4月1日付にて、下記のとおり、事業セグメントを改編いたしました。

【新旧セグメントの対照表】

(旧セグメント)

グラフィックアーツ事業部門

- ・ 印刷インキ
- ・ 印刷関連機器・材料
- ・ 有機顔料
- ・ カラー&コンフォート

電子情報材料事業部門

- ・ 記録材料
- ・ 液晶材料
- ・ エンジニアリングプラスチック
- ・ 中空糸

工業材料事業部門

- ・ 合成樹脂
- ・ ポリマ添加剤

機能製品事業部門

- ・ 合成樹脂コンパウンド・着色剤
- ・ 建材
- ・ 石化関連製品
- ・ 粘着製品
- ・ プラスチック成形品

(新セグメント)

印刷インキ事業部門

- ・ 印刷インキ
- ・ 印刷関連機器・材料

ニューグラフィックアーツ事業部門

- ・ 有機顔料
- ・ 記録材料
- ・ 液晶材料

合成樹脂事業部門

- ・ 合成樹脂
- ・ ポリマ添加剤

ケミカルソリューション事業部門

- ・ 合成樹脂コンパウンド・着色剤
- ・ 建材
- ・ 包装資材(石化関連製品より改称)
- ・ 粘着製品
- ・ プラスチック成形品
- ・ エンジニアリングプラスチック
- ・ 中空糸
- ・ カラー&コンフォート

この改編は、中期経営計画「DIC102」の基本方針である「点から面へ」の展開（製品ごとの事業運営から、全社としてのシナジーを活かし総合力を発揮する事業運営への転換）や、当社経営ビジョン「Color & Comfort by Chemistry」（化学で彩りと快適を提案する）の実現に向けた具体的な施策の一環です。

なお、前年同期の数値については、変更後の区分に組み替えて記載しております。

各事業部門の業績は次のとおりです。前年同期比の（ ）内の数値は、為替換算の影響を排除した増減比を表しています。なお、印刷インキ事業部門の業績には事業部門内の地域間取引が含まれており、合計金額は上記の業績数値と一致しません。

[印刷インキ事業部門]

・日本	売上高： 246億円 前年同期比 +18.0%
	営業利益： 9億円 前年同期比 +8.5%

グラビアインキは、主に飲料・食品向けの軟包装材関連の需要が前年同期並に推移しましたが、出版・チラシ関連の需要の減少および新聞の発行部数やページ数の減少などの影響を受け、オフセットインキと新聞インキは苦戦を強いられました。しかしながら、昨年の第3四半期より、ザ・インクテック社の印刷インキ事業の商権を引き継いだことにより、増収となりました。

営業利益は、上記のような売上状況により増益となりましたが、原料価格上昇の影響を受け、微増にとどまりました。

・米州・欧州	売上高： 657億円 前年同期比 △5.6% (+2.2%)
	営業利益： 17億円 前年同期比 10.6倍 (21.0倍)

北米及び欧州では、新聞インキと出版インキが、北米における新聞や雑誌の発行部数の減少などの影響により苦戦しましたが、チラシやカタログ関連、グラビアインキが堅調に推移し、増収となりました。中南米においては、主力のパッケージ用インキで増収となったほか、全ての品目において需要が大きく伸長し、増収となりました。以上の結果、全体としては現地通貨ベースで前年同期の水準を上回りましたが、円高の影響により減収となりました。

営業利益は、現地通貨ベースで増収となったことや合理化の効果などにより、増益となりました。

・アジア・オセアニア	売上高： 147億円 前年同期比 +11.2% (+10.7%)
	営業利益： 15億円 前年同期比 +49.8% (+52.0%)

中国では、輸出産業向けのオフセットインキやグラビアインキが、東南アジアではオフセットインキや新聞インキが各々好調に推移し、増収となりました。オセアニアではオフセットインキが苦戦しましたが、新聞インキが好調だったことにより増収となりました。インドでは、オフセットインキと新聞インキが好調に推移しましたが、製缶塗料事業の譲渡による減収により、前年同期並みとなりました。

営業利益は、増収による効果が大きく、増益となりました。

[ニューグラフィックアーツ事業部門]

	売上高： 274億円 前年同期比 +13.3% (+18.6%)
	営業利益： 14億円 前年同期比 21.2倍 (10.1倍)

有機顔料は、カラーフィルタ用をはじめとして、インキ用および塗料・プラスチック用も好調だったことから、国内外において増収となりました。また、国内外のインクジェットインキも伸長しました。一方、競争激化により苦戦を強いられたTF T液晶や、CD、DVD向け需要の減退の影響を受けた光ディスク用保護コート剤が減収となりました。

営業利益は、増収効果や品目構成の改善などにより、増益となりました。

## [合成樹脂事業部門]

売上高： 400億円 前年同期比 +10.2% (+11.1%)  
 営業利益： 42億円 前年同期比 +39.9% (+39.4%)

電気・電子産業や自動車産業向けを中心に全般的に需要が増大したことから、エポキシ樹脂、水性ウレタン、改質剤などの品目において増収となりました。また、アジアにおいては、需要の拡大により、中国、東南アジアとも好調に推移しました。

営業利益は、増収効果や品目構成の改善などにより、増益となりました。

## [ケミカルソリューション事業部門]

売上高： 379億円 前年同期比 +4.3% (+4.4%)  
 営業利益： 20億円 前年同期比 +31.1% (+30.0%)

PPSコンパウンドがハイブリッド車向けを中心に伸長し、増収となったほか、電気・電子産業向けを中心に工業用粘着テープ及び機能性光学材料が伸長しました。また、化粧板も住宅・建築向けに需要が伸長し、増収となりました。

営業利益は、増収効果や品目構成の改善などにより、増益となりました。

なお、平成23年3月期第1四半期に係る連結経営成績に関する定性的情報については、平成23年3月期第1四半期決算短信（平成22年8月6日開示）をご参照ください。

## (3) 当第2四半期連結累計期間の業績

	当第2四半期 実績(累計)	前第2四半期 実績(累計)	増 減 比	
				為替影響排除後
売上高	3,931億円	3,599億円	+9.2%	+10.4%
営業利益	208	77	2.7倍	2.6倍
経常利益	189	30	6.4倍	--
四半期純利益	122	6	21.7倍	--

## (4) 2010年度通期業績予想

	通期予想 (前回予想) ※	前期実績	増 減 比	
				為替影響排除後
売上高	7,800億円 (7,800)	7,578億円	+2.9%	+7.0%
営業利益	380 (380)	278	+36.6%	+44.3%
経常利益	330 (330)	191	+72.9%	--
当期純利益	180 (160)	25	7.1倍	--

※ ( ) 内の数値は平成22年10月21日公表値

(業績見通しの修正理由)

プラスチックパレット事業の一部譲渡などにより、特別利益の増加が見込まれるため、上記の通り業績予想を修正致します。

業績の見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断したものであり、潜在的なリスクや不確定要素が含まれていません。業績に影響を与え得る重要な要素としては、国内外の経済情勢、市場の動向、原料価格や金利、為替レートの変動などのほか、紛争・訴訟、災害・事故などのリスクがあり、また、事業再構築に伴う一時損失が発生する可能性があります。ただし、業績に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

## 2. 財政状態

(資産、負債及び純資産の状況に関する分析)

当第2四半期末の資産の部は、前期末と比べて7億円減の7,492億円となりました。債権流動化の減少に伴い売上債権が増加した一方、為替レート変動の影響により資産が減少したことによるものです。負債の部は主に為替レート変動の影響により、前期末比165億円減の6,105億円となりました。また、純資産の部は、増資等により前期末比158億円増の1,386億円となりました。

(キャッシュ・フローの状況に関する分析)

[営業活動によるキャッシュ・フロー] 当第2四半期 △223億円 (前第2四半期 △362億円)

当第2四半期連結累計期間は、税金等調整前四半期純利益が170億円、減価償却費が164億円となりました。一方で、運転資本の増加により504億円の資金を使用し、法人税等に52億円を支払いました。以上の結果、営業活動に使用した資金の総額は223億円となりました。

[投資活動によるキャッシュ・フロー] 当第2四半期 △112億円 (前第2四半期 △147億円)

当第2四半期連結累計期間は、設備投資に102億円の資金を使用した結果、投資活動に使用した資金の総額は112億円となりました。

[財務活動によるキャッシュ・フロー] 当第2四半期 192億円 (前第2四半期 550億円)

当第2四半期連結累計期間は、株式の発行により175億円、借入金により39億円の資金を調達した一方で、剰余金の配当として16億円を支払いました。以上の結果、財務活動により得られた資金の総額は192億円となりました。



### 3. その他の情報

#### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

##### 1. 簡便な会計処理

採用した簡便な処理のうち、重要なものはありません。

##### 2. 特有の会計処理

一部の連結子会社の税金費用については、当第2四半期を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

#### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

##### 1. 会計処理基準に関する事項の変更

① 第1四半期より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益がそれぞれ7百万円、税金等調整前四半期純利益が699百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は757百万円であります。

② 第1四半期より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）、「「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正」（企業会計基準第23号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

##### 2. 表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第2四半期では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期末 (22.9.30)	前期末に係る 要約連結貸借対照表 (22.3.31)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,275	29,549
受取手形及び売掛金	218,338	182,053
商品及び製品	68,169	71,631
仕掛品	9,001	9,225
原材料及び貯蔵品	45,586	43,063
その他	28,226	34,905
貸倒引当金	△8,205	△8,668
流動資産合計	381,390	361,758
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	92,459	97,874
機械装置及び運搬具(純額)	72,525	78,593
工具、器具及び備品(純額)	8,483	9,254
土地	57,748	59,828
建設仮勘定	4,816	6,848
有形固定資産合計	236,031	252,397
無形固定資産		
のれん	2,211	1,704
その他	12,197	12,177
無形固定資産合計	14,408	13,881
投資その他の資産		
投資有価証券	29,131	30,404
その他	88,786	92,078
貸倒引当金	△567	△652
投資その他の資産合計	117,350	121,830
固定資産合計	367,789	388,108
資産合計	749,179	749,866

(単位：百万円)

	当第2四半期末 (22.9.30)	前期末に係る 要約連結貸借対照表 (22.3.31)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	118,597	121,661
短期借入金	82,457	51,593
コマーシャル・ペーパー	4,000	200
1年内償還予定の社債	5,000	25,000
未払法人税等	3,490	4,267
賞与引当金	2,809	2,911
その他	59,368	65,349
流動負債合計	275,721	270,981
固定負債		
社債	41,000	41,000
長期借入金	242,536	258,889
退職給付引当金	26,269	29,391
製品補償損失引当金	—	1,000
資産除去債務	1,065	—
その他	23,953	25,776
固定負債合計	334,823	356,056
負債合計	610,544	627,037
純資産の部		
株主資本		
資本金	91,154	82,423
資本剰余金	88,758	80,027
利益剰余金	37,780	27,131
自己株式	△651	△648
株主資本合計	217,041	188,933
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△353	278
繰延ヘッジ損益	△431	△217
年金負債調整額	△20,058	△22,036
為替換算調整勘定	△79,654	△65,924
評価・換算差額等合計	△100,496	△87,899
少数株主持分	22,090	21,795
純資産合計	138,635	122,829
負債純資産合計	749,179	749,866

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (21. 4. 1~21. 9. 30)	当第2四半期連結累計期間 (22. 4. 1~22. 9. 30)
売上高	359,861	393,073
売上原価	289,739	308,887
売上総利益	70,122	84,186
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	21,699	20,787
貸倒引当金繰入額	546	786
賞与引当金繰入額	663	992
退職給付費用	3,801	2,437
その他	35,714	38,374
販売費及び一般管理費合計	62,423	63,376
営業利益	7,699	20,810
営業外収益		
受取利息	688	552
受取配当金	115	135
為替差益	—	610
持分法による投資利益	1,092	1,011
その他	1,058	1,435
営業外収益合計	2,953	3,743
営業外費用		
支払利息	3,914	3,514
為替差損	1,328	—
その他	2,429	2,103
営業外費用合計	7,671	5,617
経常利益	2,981	18,936
特別利益		
事業譲渡益	—	605
特別利益合計	—	605
特別損失		
固定資産処分損	792	1,548
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	692
リストラ関連退職損失	1,407	325
特別損失合計	2,199	2,565
税金等調整前四半期純利益	782	16,976
法人税等	△238	3,514
少数株主損益調整前四半期純利益	—	13,462
少数株主利益	456	1,231
四半期純利益	564	12,231

(第2四半期)

(単位：百万円)

	前第2四半期 (21. 7. 1～21. 9. 30)	当第2四半期 (22. 7. 1～22. 9. 30)
売上高	188,672	196,267
売上原価	151,339	154,108
売上総利益	37,333	42,159
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	10,954	10,848
貸倒引当金繰入額	398	349
賞与引当金繰入額	560	927
退職給付費用	2,080	1,191
その他	17,749	18,248
販売費及び一般管理費合計	31,741	31,563
営業利益	5,592	10,596
営業外収益		
受取利息	423	361
受取配当金	65	91
為替差益	—	337
持分法による投資利益	834	671
その他	361	794
営業外収益合計	1,683	2,254
営業外費用		
支払利息	1,893	1,764
為替差損	1,427	—
その他	1,288	1,412
営業外費用合計	4,608	3,176
経常利益	2,667	9,674
特別利益		
事業譲渡益	—	605
特別利益合計	—	605
特別損失		
固定資産処分損	407	815
リストラ関連退職損失	1,155	121
特別損失合計	1,562	936
税金等調整前四半期純利益	1,105	9,343
法人税等	424	2,388
少数株主損益調整前四半期純利益	—	6,955
少数株主利益	305	752
四半期純利益	376	6,203

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (21. 4. 1~21. 9. 30)	当第2四半期連結累計期間 (22. 4. 1~22. 9. 30)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	782	16,976
減価償却費	17,712	16,429
のれん償却額	338	291
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,069	△208
賞与引当金の増減額 (△は減少)	866	△102
受取利息及び受取配当金	△803	△687
持分法による投資損益 (△は益)	△1,092	△1,011
支払利息	3,914	3,514
固定資産除売却損益 (△は益)	792	1,548
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	692
事業譲渡損益 (△は益)	—	△605
売上債権の増減額 (△は増加)	△51,729	△45,378
たな卸資産の増減額 (△は増加)	13,535	△5,915
仕入債務の増減額 (△は減少)	△7,823	940
その他	△5,991	△719
小計	△28,430	△14,235
利息及び配当金の受取額	1,203	751
利息の支払額	△3,796	△3,566
法人税等の支払額	△5,168	△5,201
営業活動によるキャッシュ・フロー	△36,191	△22,251
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△80	△1
定期預金の払戻による収入	143	—
有形固定資産の取得による支出	△14,077	△9,514
有形固定資産の売却による収入	592	847
無形固定資産の取得による支出	△517	△681
無形固定資産の売却による収入	2	24
関係会社株式及び出資金の取得による支出	—	△217
関係会社株式及び出資金の売却による収入	16	56
投資有価証券の取得による支出	△36	△385
投資有価証券の売却及び償還による収入	281	43
事業譲受による支出	△1,143	△1,269
その他	122	△62
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,697	△11,159

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (21. 4. 1~21. 9. 30)	当第2四半期連結累計期間 (22. 4. 1~22. 9. 30)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,062	14,305
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△10,197	3,800
長期借入れによる収入	80,994	12,797
長期借入金の返済による支出	△11,197	△7,017
社債の償還による支出	△5,000	△20,000
株式の発行による収入	—	17,462
配当金の支払額	△2,373	△1,582
少数株主への配当金の支払額	△214	△479
自己株式の純増減額 (△は増加)	△3	△3
その他	△46	△60
財務活動によるキャッシュ・フロー	55,026	19,223
現金及び現金同等物に係る換算差額	△258	4,912
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,880	△9,275
現金及び現金同等物の期首残高	20,094	29,549
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,974	20,274

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち、分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品別の事業部門を置き、各事業部門は取り扱う製品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は事業部門を基礎とした製品別のセグメントから構成されており、「印刷インキ」、「ニューグラフィックアーツ」、「合成樹脂」及び「ケミカルソリューション」の4つを報告セグメントとしております。

「印刷インキ」は、印刷インキ、印刷関連機器・材料を製造販売しております。「ニューグラフィックアーツ」は、有機顔料、記録材料及び液晶材料を製造販売しております。「合成樹脂」は、合成樹脂、ポリマ添加剤を製造販売しております。「ケミカルソリューション」は、合成樹脂コンパウンド・着色剤、建材、包装資材、粘着製品、プラスチック成形品、エンジニアリングプラスチック、中空糸及びカラー&コンフォートを製造販売しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	印刷インキ	ニューグラフィックアーツ	合成樹脂	ケミカルソリューション	計		
売上高							
外部顧客への売上高	205,562	35,032	73,893	76,010	390,497	2,576	393,073
セグメント間の内部売上高又は振替高	47	18,963	5,269	377	24,656	—	24,656
計	205,609	53,995	79,162	76,387	415,153	2,576	417,729
セグメント利益	7,629	2,237	7,982	4,174	22,022	751	22,773

当第2四半期（自平成22年7月1日 至平成22年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	印刷インキ	ニューグラフィックアーツ	合成樹脂	ケミカルソリューション	計		
売上高							
外部顧客への売上高	103,255	17,305	37,147	37,693	195,400	867	196,267
セグメント間の内部売上高又は振替高	36	10,142	2,889	203	13,270	—	13,270
計	103,291	27,447	40,036	37,896	208,670	867	209,537
セグメント利益	4,051	1,442	4,163	2,013	11,669	△106	11,563



3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	22,022
「その他」の区分の利益	751
全社費用（注）	△1,963
四半期連結損益計算書の営業利益	20,810

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総合研究所に係る費用であります。

当第2四半期（自平成22年7月1日 至平成22年9月30日）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	11,669
「その他」の区分の利益	△106
全社費用（注）	△967
四半期連結損益計算書の営業利益	10,596

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総合研究所に係る費用であります。

(追加情報)

第1四半期より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。なお、当該基準に準拠して作成した前第2四半期連結累計期間及び前第2四半期のセグメント情報は以下の通りとなります。

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	印刷 インキ	ニューグラ フィック アーツ	合成樹脂	ケミカルソリ ューション	計		
売上高							
外部顧客への売上高	194,800	32,316	63,088	67,868	358,072	1,789	359,861
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,008	14,615	5,941	450	22,014	—	22,014
計	195,808	46,931	69,029	68,318	380,086	1,789	381,875
セグメント利益	3,399	△3	4,647	1,665	9,708	343	10,051

前第2四半期（自平成21年7月1日 至平成21年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	印刷 インキ	ニューグラ フィック アーツ	合成樹脂	ケミカルソリ ューション	計		
売上高							
外部顧客への売上高	101,708	16,757	33,354	36,106	187,925	747	188,672
セグメント間の内部売上高 又は振替高	505	7,473	2,966	214	11,158	—	11,158
計	102,213	24,230	36,320	36,320	199,083	747	199,830
セグメント利益	1,885	68	2,976	1,535	6,464	251	6,715

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	9,708
「その他」の区分の利益	343
全社費用（注）	△2,352
四半期連結損益計算書の営業利益	7,699

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総合研究所に係る費用であります。

前第2四半期（自平成21年7月1日 至平成21年9月30日）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,464
「その他」の区分の利益	251
全社費用（注）	△1,123
四半期連結損益計算書の営業利益	5,592

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総合研究所に係る費用であります。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成22年6月1日付で公募増資を実施いたしました。また平成22年6月22日付で、みずほ証券株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、第1四半期において資本金が8,731百万円、資本剰余金が8,731百万円増加し、当第2四半期末において資本金が91,154百万円、資本剰余金が88,758百万円となっております。